

# 第 1 学年 道徳学習指導案

日 時 平成24年10月2日(火)第5校時  
学 級 軽米町立小軽米中学校 第1学年  
男子6名 女子2名 計8名  
授 業 者 大西 優(軽米町立小軽米中学校)  
共同研究者 大矢 多恵子(軽米町立晴山中学校)

## 1 主題名 「友情」【2-(3)】

## 2 資料名 「吾一と京造」(出典「かけがえのないきみだから 中学生の道徳1年」学研)

### 3 主題について

#### (1) 価値について

内容項目2-(3)は、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う」ことをねらいとしている。

「友情の尊さ」とは、平等な人間関係を基盤として相手に対する尊敬と愛情を深めつつ、信頼で結ばれながら、切磋琢磨し合い、共に向上を図ることである。真の友情とは、互いを思いやる心から生まれるものであり、望ましい人間関係や社会生活を成立させる上で欠かすことのできない、「人間尊重の精神」をもとにして生まれた道徳的価値であると考えられる。

また、真の友情を育てるためには、「理解し合い、認め合う」「信頼し合う」「励まし合い、高め合う」といったことを段階を踏みながら深めていく必要がある。そういったことから、敬愛と信頼に支えられながらも語り、悩み、共感し、励まし合い高め合いながら、よりよい友情関係が築き上げられ、楽しく充実した学校生活ができると考える。

また、中学生にとって、友達は親や教師よりも重要な存在となることがあり、友情の在り方を深く見つめさせ、共によりよく生きることの意義を考えさせることは、生涯にわたる友情関係を育む上でも意義深いことである。

本主題を通して、心から信頼できる友達をもち、互いに助け合い、励まし合い、忠告し合って、共に向上を目指す真の友情を育てたいと思う。

#### (2) 生徒について

本学級の生徒は、学級の取組や部活動を中心としながら、良好な人間関係を築いており、学校での生活はもとより校外での生活においても、共に行動しながら親交を深めている。また、学級の活動に対しては積極的に活動を行う生徒である。しかし、自分が発したことを他の人がどう思っているか、また、自分の行動をどう感じているかまで深く考えるには至っていない。そのため、級友に対する心ない言動や自己中心的な言動で他人を傷つけてしまったり、感情の行き違いなどから一方的に不満を抱き、築き上げてきた友情関係を台無しにしてしまいそうになったりすることがある。

そこで、この学習を通して、真の友情の在り方や友情の尊さについて深く考えさせ、友情を今よりも確かなものにしていく意欲を高めていくことが必要であると考えられる。また、相手の言動だけにとらわれず、内面的な良さに目を向けながら、実生活に生かす態度を育てたい。そのことにより、相手の成長を願って互いに励まし合い、高め合っていくことが真の友情の姿であることを自覚させ、生涯を通してよい友を得ようとする心情を育てていきたい。また、そのことによって、学級集団としてもより質の高い集団を目指していきたい。

#### (3) 資料について

本資料は、遅刻した秋太郎によって仲間全員が遅刻してしまいそうになったときに、秋太郎において学校に行こうとする吾一とあくまでも秋太郎と行動を共にしようとする京造との相反する行動が描かれている。

遅刻することを恐れ、秋太郎の家に寄らずに学校へ走り出した吾一の心情は、誰にでもある心の弱さにとらえさせていきたい。また、吾一とは対照的に、遅刻したことについて何の言い訳もしない強さをもった京造に対して、何も悪いことはしていないのに後ろめたさを感じ、心を「草の葉のように揺らす」吾一の心情を深く掘り下げながら、真の友情の意味を考えさせたい。

また、主人公の心の動きがよく表現されている資料であることから、生徒たちに主人公の心の変容を共感的にとらえさせたい。

#### 4 本時について

##### (1) ねらい

友達を敬愛し、信頼し合うことによって友としてなすべきことを自覚し、真の友情の姿を追求しようとする心情を育てる。

##### (2) 本時の指導の構想

導入では、生徒の友達についての考えを把握するために、「友達にしてもらってうれしかったこと」について発表させる。

展開前半では、吾一が秋太郎の家に迎えに行かず、一人学校に向かう場面について、吾一の行動を批判的にとらえる生徒が多いと思われるので、補助発問等で吾一のよさを引き出すようにする。

また、吾一の行動の根拠を明らかにしたうえで、「そんな吾一の行動をみんなはどう思うか」と問うことで、吾一の行動を弁護する立場と批判する立場とに分け、生徒一人一人の価値の意識を明確にしていきたい。

展開後半では、それぞれの考えの根拠を明確にした話し合いを通して、吾一のような心の弱さは誰にでもあるということを確認しながら、やむにやまれず先に行った吾一の心情を共感的に受け止めることができるようにする。

まとめとしては、実感できた道徳的価値の大切さをこれからの生活に生かすために、今日の授業を通して考えたことを、「真の友情とは」という題でまとめさせ、友情の在り方について学んだことや考えが深まったことなどを発表させながら一般化させ、授業を締めくくりたい。

##### (3) 本時の展開

( ◎中心発問    ○基本発問    ◇補助発問    ※指示 )

	学習活動と主な発問	期待される生徒の答え	指導上の留意点
導入 5分	1 「友達」についての考えを発表しあう。  ○「友達」にしてもらってうれしかったことを発表してください。	・何でも話し合えるのが友達ではないか。 ・友達に悩みを打ち明けると一緒に考えてくれるのでありがたい。	・意見を述べさせながら、本時ねらいと価値への方向付けを図る。
	2 資料についての感想を発表し、話し合いの方向をつかむ。  ○資料を読んだ感想を発表してください。  3 一人っきりで学校に向かう吾一の心情について話し合う。 ○吾一が一人っきりで学校へ向かったのはどうしてでしょう。	・京造は友達のことを思って自分を犠牲にしたのがえらい。 ・吾一の気持ちも分かるが、自分のことだけ考えて、友達に対する思いやりの心が欠けている気がする。  ・自分が遅刻したくないから。 ・今走ればまだ間に合うかもしれないと思ったから。	・場面状況を把握しやすいように紙板書等であらすじを確認しながら、臨場感を高めていく。 ・自分のとった行動は間違っていないと思いながらも心を揺らし思い悩む吾一の心情を追いながら話し合いを進めていくことを確かめる。  ・吾一と京造たちは「一緒に登校する仲間であること」吾一は「火に当たるどころではなかった」「遅刻のことを思うと気が気でない」などの場面状況をしっかりと把握させ

展	<p>◇吾一には秋ちゃんを迎えに行こうという気持ちは最初からなかったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あったと思うが、このときは遅刻してはいけないという考えだった。</li> <li>・一瞬迷ったが、秋ちゃんを迎えに行くよりも、遅刻をしないことがえらいんだと自分に言い聞かせた。</li> </ul>	<p>ながら、やむにやまれず学校へ向かう吾一の心情を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吾一の行動を批判的にとらえる生徒が多いと思われるので、補助発問等で吾一の良さを引き出すようにする。</li> </ul>
開	<p>◇そんな吾一の行動をみんなはどう思いますか。 (生徒一人ひとりの考えを明確に示させ、話し合う。)</p> <p>4 一人、秋ちゃんを迎えに行った京造のことを知った吾一の心情について話し合う。</p> <p>○吾一がげんこつで胸もとをどかんとやられたような気がしたのはどうしてでしょうか。</p> <p>5 心を草の葉のように揺らす吾一の心情について話し合う。</p> <p>◎心を草の葉のように揺らす吾一はどのようなことを考えているでしょう。</p> <p>◇吾一は京造の行動から何を学んだのでしょうか。</p> <p>◇吾一のよいところはどこですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうがないと思う。遅刻するのはいいことではない。</li> <li>・よくないと思う。もっと友達のことを考えてもいい。</li> <li>・友達との約束を必ず守ろうとする京造の姿勢に心を強く揺り動かされたから。</li> <li>・京造だけが迎えに行っただけを聞いて京造に対して引け目を感じたから。</li> <li>・遅刻しないということで頭がいっぱいだったが、よく考えると自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・遅刻しないのは正しいと考えて自分だけ一生懸命学校に来たが、友達が遅刻しないようにすることを今まで考えたことがなかった。</li> <li>・自分のことだけ考えるのではなく、お互いの向上を考えて行動できるよう努力するのが友情の基本であるということ。</li> <li>・京造の取った行動から友達に対する自分の考えや行動について、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吾一の行動を弁護する立場と批判する立場に分け、それぞれの考えの根拠を明確にしながらかし合う。</li> <li>・やむにやまれず先に行っただけの吾一の心情を共感的に受け止めさせるようにする。</li> <li>・吾一が、京造の取った信義を守ろうとする行動について強く心を揺り動かされていること、さらに自分の取った行動について、引け目を感じていることをとらえさせる。</li> <li>・中心発問における話し合いをとおして自分だけ正しいことをすればよいのではなく、友達の立場に立って友達も正しくあるようにと考えるべきだということをとらえさせながら本時ねらいとする価値を把握させる。</li> <li>・京造の取った行動はすべて肯定されるものではないが、友達に対する思いやりの深さや信義を守った行動は真の友情の在り方として、一つの理想であることを押さえる。</li> <li>・吾一のよきとは、自分は正しいことをしたのだと平然と</li> </ul>

	<p>6 授業を通して感じたことや学んだことをまとめる。          (吾一と京造の考え方や行動から、学ぶべきものは何かについてまとめる。)</p> <p>※今日の授業を通して感じたことや考えたことを振り返りながら、「真の友情」について考えをまとめよう。</p>	<p>悩んだり反省したりして、考えているところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけではなく、相手の立場に立って考え、お互いの高まりを考えて努力するのが本当に友情だと感じた。</li> </ul>	<p>せずに京造の取った思いやりの行動から自分の行いを振り返り、友達としての在り方を深く見詰め悩んでいるところを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を振り返りながら、学んだことや考えが深まったことなどを書かせ、友情の在り方に対する道徳的価値の自覚を深めさせたい。</li> </ul>
<p>終末5分</p>	<p>7 本時のまとめをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を通して、友情の在り方に対する生徒の意識の変容を確かめながら実践に向かおうとする意欲を高めていきたい。</li> </ul>

(4) 本時の評価 (期待する子どもの姿) と手立て

- ・友情のあり方として、常に相手の立場に立って考えることの価値に気付いている。

【発言や話し合いの見とり、道徳シート (感想) の分析】

5 板書計画



